



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月25日

上場会社名 日立化成株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4217 URL <http://www.hitachi-chem.co.jp>  
 代表者 (役職名) 執行役社長 (氏名) 田中 一行  
 問合せ先責任者 (役職名) CSR統括部 コーポレート コミュニケーションセンター長 (氏名) 加藤 淳 (TEL) 03-5533-7143  
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	125,127	5.0	7,531	0.4	8,228	△3.2	6,500	△20.3
26年3月期第1四半期	119,199	1.0	7,503	10.6	8,499	25.3	8,158	63.3

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 5,074百万円(△57.9%) 26年3月期第1四半期 12,054百万円(—)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	31.21	—
26年3月期第1四半期	39.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	503,141	338,126	66.0
26年3月期	508,080	336,386	65.1

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 332,175百万円 26年3月期 330,708百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	18.00	—	18.00	36.00
27年3月期	—				
27年3月期(予想)		18.00	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	255,000	4.9	16,000	10.0	16,000	△2.4	12,000	△18.8	57.63
通期	523,000	5.9	36,000	29.6	36,000	12.2	25,000	3.7	120.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名) 日立粉末冶金株式会社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	27年3月期1Q	208,364,913株	26年3月期	208,364,913株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	122,989株	26年3月期	122,189株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	27年3月期1Q	208,242,313株	26年3月期1Q	208,246,942株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項は、【添付資料】P. 3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(四半期連結損益計算書)	P. 6
(四半期連結包括利益計算書)	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

2014年4月1日から同年6月30日までの連結業績につきましては、売上高は1,251億27百万円(前年同期比5.0%増)、営業利益は75億31百万円(前年同期比0.4%増)と前年同期実績を上回りました。機能材料セグメントでは、スマートフォン、タブレットPCの堅調な需要に支えられ、半導体用ダイボンディング材料や感光性フィルムの売上が増加し、また、先端部品・システムセグメントでは、蓄電デバイス・システムにおける各製品の売上増に加え、樹脂成形品の海外製造拠点の新規立ち上げ等があったことにより、前年同期実績を上回りました。一方、経常利益は為替の影響等により、82億28百万円(前年同期比3.2%減)、また、四半期純利益は福島第一原子力発電所の事故に伴う東京電力(株)からの補償金の減少により、65億0百万円(前年同期比20.3%減)と、いずれも前年同期実績を下回りました。

セグメント別の事業の状況は以下のとおりです(各セグメントの売上高は、セグメント間内部売上高消去後の数値を記載)。

## 機能材料セグメント

当セグメントの売上高は前年同期実績の4.6%増に当たる685億3百万円となりました。

## ①電子材料

半導体用エポキシ封止材は、パソコン向けの需要減等により、前年同期実績を下回りました。

半導体用ダイボンディング材料は、スマートフォン、タブレットPC向けの堅調な需要に支えられ、前年同期実績と同等の水準を維持することができました。

半導体回路平坦化用研磨材料は、一部顧客における需要減の影響により、前年同期実績を下回りました。

電気絶縁用ワニスは、国内自動車向けの堅調な需要に支えられ、前年同期実績と同等の水準を維持することができました。

## ②無機材料

リチウムイオン電池用カーボン負極材は、環境対応自動車向けの売上が増加し、前年同期実績を上回りました。

カーボン製品は、鉄道車両用ブラシの売上が増加したことにより、前年同期実績を上回りました。

## ③樹脂材料

機能性樹脂は、重電・自動車向けに硬化剤の需要が好調だったことにより、前年同期実績を上回りました。

粘着フィルムは、液晶ディスプレイの光学シート表面保護用の需要減により、前年同期実績を下回りました。

ディスプレイ用回路接続フィルムは、スマートフォン向けの売上減により、前年同期実績を下回りました。

タッチパネル周辺材料は、一部顧客の需要減により、前年同期実績を下回りました。

## ④配線板材料

銅張積層板は、スマートフォン向けの売上が増加した一方で、パソコン向け等の売上が減少したことにより、前年同期実績並みとなりました。

感光性フィルムは、スマートフォン、タブレットPC向けの売上拡大により、前年同期実績を上回りました。

## 先端部品・システムセグメント

当セグメントの売上高は前年同期実績の5.5%増に当たる566億24百万円となりました。

## ①自動車部品

樹脂成形品は、一部顧客の需要増により、前年同期実績を上回りました。

摩擦材は、タイヤでの需要減等により、前年同期実績を下回りました。

粉末冶金製品は、海外子会社の売上が貢献したこと等により、前年同期実績を上回りました。

②蓄電デバイス・システム

車両用電池は、アイドリングストップ車等の環境対応自動車向けの増加や海外拠点の売上増により、前年同期実績を上回りました。

産業用電池・システムは、電動車用の売上増により、前年同期実績を上回りました。

キャパシタは、風力・太陽光発電向けの売上が増加したことにより、前年同期実績を上回りました。

③電子部品

配線板は、スマートフォン、タブレットPC向け等の売上拡大により、前年同期実績を上回りました。

④その他

診断薬・装置は、アレルギー診断薬の売上が減少したことにより、前年同期実績を下回りました。

(2)財政状態に関する説明

①資産

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末から49億39百万円減少し5,031億41百万円となりました。主に有形固定資産が減少し、固定資産が32億4百万円減少したことによるものです。

②負債

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末から66億79百万円減少し1,650億15百万円となりました。主に法人税等の支払により未払法人税等が減少し、流動負債が60億49百万円減少したことによるものです。

③純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末から17億40百万円増加し3,381億26百万円となりました。主に利益剰余金が増加し、株主資本が27億50百万円増加したことによるものです。

(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期(累計)及び通期の業績予想につきましては、タイの自動車需要の低迷等により、売上高は、前回発表の業績予想を下回る見込みです。一方、当期純利益は、福島第一原子力発電所の事故による操業停止期間の逸失利益に対する東京電力(株)からの補償金を特別利益として当第1四半期に計上したこと等により、前回発表の業績予想を上回る見込みです。

なお、本日、第1四半期決算と同時に「子会社の異動を伴う株式取得に関する基本合意書締結について」及び「希望退職の募集、転職支援の実施について」を開示しましたが、これらの施策が2015年3月期業績予想に与える影響額は、下記予想値に織り込んでおりません。確定後、開示いたします。

〔第2四半期(累計)〕

	今回予想(A)	前回予想(B)	増減額(A-B)	増減率
売上高	2,550億円	2,570億円	△20億円	△0.8%
営業利益	160億円	160億円	—	—
経常利益	160億円	160億円	—	—
当期純利益	120億円	110億円	10億円	9.1%

〔通期〕

	今回予想(A)	前回予想(B)	増減額(A-B)	増減率
売上高	5,230億円	5,250億円	△20億円	△0.4%
営業利益	360億円	360億円	—	—
経常利益	360億円	360億円	—	—
当期純利益	250億円	240億円	10億円	4.2%

2. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2014年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2014年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	37,419	37,196
受取手形及び売掛金	108,293	109,202
製品	20,921	22,547
仕掛品	13,888	14,308
原材料	15,526	15,954
関係会社預け金	57,238	53,741
その他	25,916	24,265
貸倒引当金	△726	△473
流動資産合計	278,475	276,740
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	59,947	59,339
機械装置及び運搬具(純額)	68,518	69,113
土地	21,577	21,431
その他(純額)	21,662	19,316
有形固定資産合計	171,704	169,199
無形固定資産		
のれん	19,079	18,622
その他	5,878	5,960
無形固定資産合計	24,957	24,582
投資その他の資産		
投資有価証券	13,681	13,668
その他	20,077	19,730
貸倒引当金	△814	△778
投資その他の資産合計	32,944	32,620
固定資産合計	229,605	226,401
資産合計	508,080	503,141

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2014年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2014年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	49,619	50,521
短期借入金	24,615	25,314
未払法人税等	5,238	2,804
その他	40,134	34,918
流動負債合計	119,606	113,557
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	10,616	10,135
役員退職慰労引当金	391	383
退職給付に係る負債	16,259	16,325
その他	4,822	4,615
固定負債合計	52,088	51,458
負債合計	171,694	165,015
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,454	15,454
資本剰余金	36,113	36,113
利益剰余金	274,895	277,647
自己株式	△200	△202
株主資本合計	326,262	329,012
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,475	1,451
繰延ヘッジ損益	14	22
為替換算調整勘定	2,146	843
退職給付に係る調整累計額	811	847
その他の包括利益累計額合計	4,446	3,163
少数株主持分	5,678	5,951
純資産合計	336,386	338,126
負債純資産合計	508,080	503,141

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2013年4月1日 至2013年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2014年4月1日 至2014年6月30日)
売上高	119,199	125,127
売上原価	89,452	94,751
売上総利益	29,747	30,376
販売費及び一般管理費	22,244	22,845
営業利益	7,503	7,531
営業外収益		
受取利息	90	96
受取配当金	146	218
持分法による投資利益	514	703
受取ロイヤリティー	642	579
為替差益	183	-
その他	685	562
営業外収益合計	2,260	2,158
営業外費用		
支払利息	346	404
固定資産処分損	250	129
為替差損	-	193
その他	668	735
営業外費用合計	1,264	1,461
経常利益	8,499	8,228
特別利益		
受取補償金	2,995	743
特別利益合計	2,995	743
特別損失	-	-
税金等調整前四半期純利益	11,494	8,971
法人税等	3,216	2,516
少数株主損益調整前四半期純利益	8,278	6,455
少数株主利益又は少数株主損失(△)	120	△45
四半期純利益	8,158	6,500



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2013年4月1日 至2013年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2014年4月1日 至2014年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	8,278	6,455
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	100	△24
繰延ヘッジ損益	32	8
為替換算調整勘定	3,314	△1,269
退職給付に係る調整額	16	36
持分法適用会社に対する持分相当額	314	△132
その他の包括利益合計	3,776	△1,381
四半期包括利益	12,054	5,074
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,001	5,217
少数株主に係る四半期包括利益	53	△143

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項なし

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項なし

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 2013年4月1日 至 2013年6月30日)

(単位:百万円)

科 目	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	機能材料	先端部品・ システム	計		
売 上 高					
(1) 外 部 顧 客 へ の 売 上 高	65,510	53,689	119,199	—	119,199
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	2,496	486	2,982	(2,982)	—
計	68,006	54,175	122,181	(2,982)	119,199
セグメント利益	6,779	766	7,545	(42)	7,503

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2014年4月1日 至 2014年6月30日)

(単位:百万円)

科 目	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	機能材料	先端部品・ システム	計		
売 上 高					
(1) 外 部 顧 客 へ の 売 上 高	68,503	56,624	125,127	—	125,127
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,983	338	2,321	(2,321)	—
計	70,486	56,962	127,448	(2,321)	125,127
セグメント利益	7,465	102	7,567	(36)	7,531

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。